

胎内シネマパラダイス

—文化庁 優秀映画鑑賞推進事業— 「名作映画上映会」

小津安二郎監督が、変わりゆく社会と家族の姿を静かに見つめた戦後の代表作を紹介します。

上映予定時間

7月12日(金)

①彼岸花	9:15～11:13
②東京物語	11:25～13:41
③秋刀魚の味	14:10～16:03
④麦秋	16:15～18:20

7月13日(土)

①秋刀魚の味	9:15～11:08
②麦秋	11:20～13:25
③彼岸花	13:55～15:53
④東京物語	16:05～18:21



「**麦秋**」 1951年 松竹(大船) / 125分 / 小津安二郎 監督

【出演】原節子、笠智衆、淡島千景 ほか

「ストーリーよりも輪廻とか無情を描きたいと思った」とは小津安二郎の監督自身の言葉である。娘の結婚と、父母の郷里への隠棲でゆるやかに崩壊していく大家族、その別れの過程が小津監督独特の豊かなユーモアと厳密なスタイルで、あたかも自然のように描かれている点に特徴がある。「キネマ旬報」ベストテン第1位。

「**東京物語**」 1953年 松竹(大船) / 136分 / 小津安二郎 監督

【出演】笠智衆、東山千栄子、原節子 ほか

小津監督は「親と子の成長を通じて、日本の家族制度がどう崩壊するか描きたかった」と語っている。戦後から8年しか経っていない当時、まだ〈高度経済成長〉や〈核家族〉といった表現がなされていない頃の作品。「キネマ旬報」ベストテン第2位。



「**彼岸花**」 1958年 松竹(大船) / 118分 / 小津安二郎 監督

【出演】佐分利信、田中絹代、有馬稲子 ほか

娘が勝手に決めてきた結婚相手に腹を立てる頑固な父親の姿をユーモラスに描く、小津安二郎監督初めてのカラー作品。小津監督の言によれば、父がなじみにしている京都の旅館の娘役として大映から招いた看板女優、山本富士子を活かした明るい映画にしたいという会社の方針もあって、色彩映画に手をつけたそうである。

「**秋刀魚の味**」 1962年 松竹(大船) / 113分 / 小津安二郎 監督

【出演】岩下志麻、笠智衆、佐田啓二 ほか

恩師の娘を演じた杉村春子は、演技指導の厳しかった小津ですら何も注文をつけなかったといわれているが、無言の立ち居振る舞いはこの作品のテーマを見事に表現している。これまでになく人生の無惨さを描いたこの作品の翌年、小津は端正な作風そのままに、還暦を迎えた12月12日、亡き母のもとへ旅立った。



● 入場料：500円(2日間通し券、全席自由) ※ 6月18日(火)発売開始

● 取扱所：産業文化会館

● 会場：産業文化会館 多目的ホール

● 問合せ：産業文化会館 ☎ 43・6400

● 主催：胎内市教育委員会 / 国立映画アーカイブ

● 特別協力：文化庁 / 社団法人日本映画製作者連盟 / 全国興行生活衛生同業組合連合会 / (株) KADOKAWA

